

石川県保険医協会 在宅医療講演会

ICTを活用した地域連携在宅医療システムの構築

—キュアからケアへのパラダイムチェンジ

講師 ナカノ在宅医療クリニック、全国在宅療養支援診療所連絡会 ICT・コミュニケーション局長

院長 **中野 一司** 氏

と き **2010年11月7日(日)** 午前10時～正午

ところ **金沢都ホテル** 7階鳳凰の間(東)

対象 在宅医療、在宅ケアに関わるすべての職種 (参加費無料)

在宅医療

『現在の医療崩壊を救うのは「在宅医療」である。』『「在宅医療」は先端医療である。』中野先生の文章や発言には、今まで聞いたことのない「フレーズ」がポンポンでできます。しかしその意味することを知ると、本当に目から鱗です。超高齢社会の中で、キュアの考えで一世紀以上進んできた医療が、障害を持った高齢者に対応できなくなっています。パラダイムシフトが求められています。

今回「ICTを活用した地域連携在宅医療システムの構築—キュアからケアへのパラダイムチェンジ」と題して、医療法人ナカノ会ナカノ在宅医療クリニック(鹿児島)、中野一司先生をお迎えして講演会を開催することになりました。

先生曰く、対象はキュアでは「病気」、ケアでは「障害」、対応する場としてキュアでは「病院医療」、ケアでは「介護+在宅医療」、尊敬される人はキュアでは「金持ち」、ケアでは「心持ち」、社会はキュアでは「経済成長・競争社会」、ケアでは「社会保障・共生社会」。推進力はキュアでは「科学技術」、ケアでは「情報革命(ICT)」と。

現在の医療の課題を喝破された先生は、返す刀で今後の日本の進むべき道まで切り開こうとしています。在宅ケアネットのメーリングリストの管理者として、全国の在宅関連の多職種からのさまざまな投稿に対し適切な方向付けをして、そのメーリングリストが日本の在宅医療に一定の影響をもつまでに成長させ、全国在宅療養支援診療所連絡会を立ち上げ、ICT局長に就任されているなど大活躍中です。

中野先生の希有壮大かつ現実的な講演をぜひ聴きに来てください。

(医療福祉部部长 大川義弘)

裏面もご覧ください！ →